

橘処理センター整備事業に係る  
条例環境影響評価方法書  
説明会



かわるん

川崎市

ごみ処理施設の  
整備方針

これまでの  
経緯

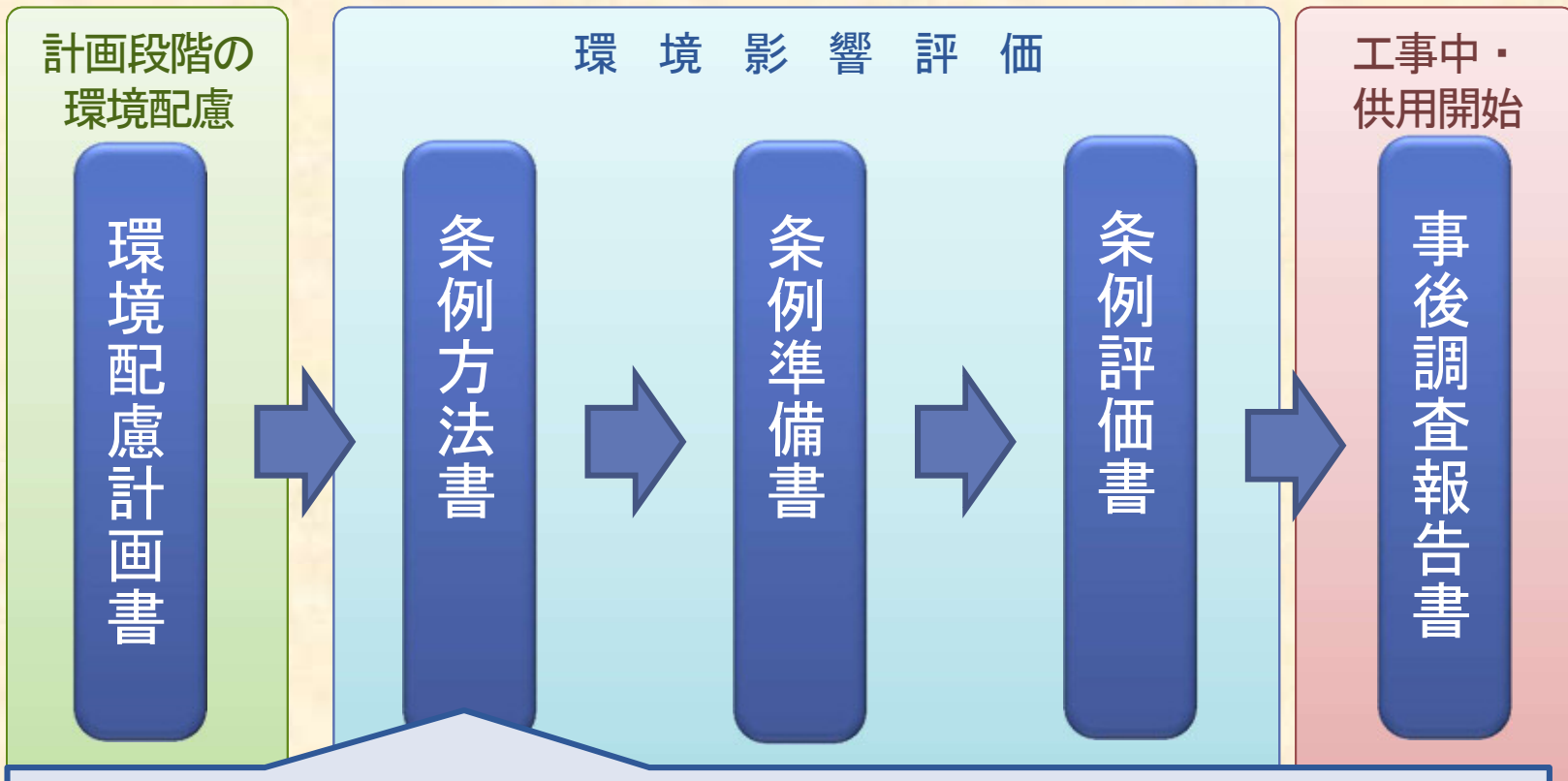
事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

## 川崎市環境影響評価に関する条例に基づく 環境影響評価（環境アセスメント）手続



- 事業特性や地域特性を踏まえ、環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法を選定します
- 審議会や皆様からの御意見を聴きます

ごみ処理施設  
の整備方針

これまでの  
経緯

事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

平成25年4月19日(金)・20日(土)  
「環境配慮計画書」説明会を実施

- ・ 施設配置と煙突高さに関する複数案
- ・ 各案の環境影響の予測結果



今回は

平成26年5月9日(金)・10日(土)  
「条例環境影響評価方法書」説明会を実施

- ・ 環境配慮計画書以降の経過
- ・ 事業計画の内容
- ・ 環境影響評価項目の選定
- ・ 環境影響の調査・予測・評価手法

ごみ処理施設  
の整備方針

本市の  
ごみ処理状況

老朽化への  
対応

これまでの  
経緯

事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

# 橘処理センター整備事業について

## 1. ごみ処理施設の整備方針

# 1-1 本市のごみ処理状況

ごみ処理施設の整備方針

本市のごみ処理状況

老朽化への対応

これまでの経緯

事業計画

環境影響評価項目の選定

調査、予測及び評価手法

今後の手続



	王禅寺 処理センター	橘 処理センター	堤根 処理センター	浮島 処理センター
竣工年月	平成24年3月	昭和49年11月	昭和54年3月	平成7年9月
処理能力	450t/日	600t/日	600t/日	900t/日

# 1-2 処理センター老朽化への対応

ごみ処理施設の整備方針

本市のごみ処理状況

老朽化への対応

これまでの経緯

事業計画

環境影響評価項目の選定

調査、予測及び評価手法

今後の手続

現在、橋処理センターは稼動後40年近く経過。



ごみ処理施設の  
整備方針

本市の  
ごみ処理状況

老朽化への  
対応

これまでの  
経緯

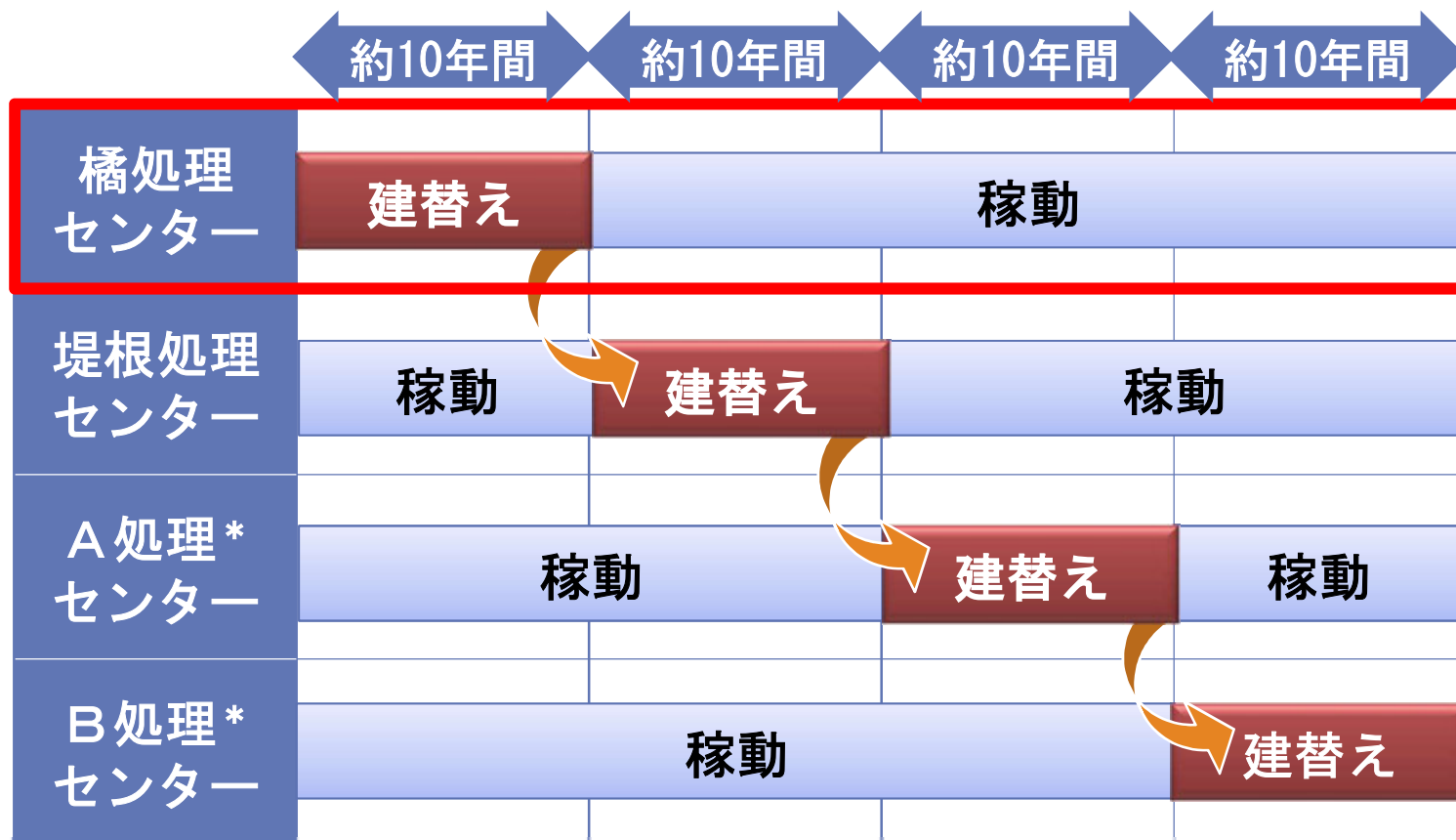
事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

### 3 処理センター体制への移行 【イメージ】



\* 堤根処理センターの次の建替えについては、様々な状況を踏まえ検証します。

ごみ処理施設  
の整備方針

これまでの  
経緯

全体  
スケジュール

配慮計画書  
の内容

検討経過

事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

# 橘処理センター整備事業について

## 2. これまでの経緯



## 2-1 全体スケジュール（イメージ）

ごみ処理施設の  
整備方針これまでの  
経緯全体  
スケジュール配慮計画書  
の内容

検討経過

事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

今年度

年度

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
基本計画	基本計画		整備計画								
環境影響評価手続	環境影響評価手続		環境影響評価手続								
設計・手続	設計・手続		設計・手続								
解体工事	解体工事		解体工事								
設計・手続	設計・手続		設計・手続								
建設工事	建設工事		建設工事								
試運転	試運転		試運転								

条例方法書  
を作成

ごみ処理施設  
の整備方針

これまでの  
経緯

全体  
スケジュール

配慮計画書  
の内容

検討経過

事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

## 【事業計画について】

### ➤ 事業計画地

現在の橋処理センターと同様の位置

### ➤ 処理能力

ごみ焼却処理施設：600t /24時間

資源化処理施設(ミックスペーパー)：45 t / 5 時間  
[手選別による異物の除去、圧縮梱包]

### ➤ ごみ処理方式

焼却方式（ストーカ式）

ごみ処理施設の  
整備方針

これまでの  
経緯

全体  
スケジュール

配慮計画書  
の内容

検討経過

事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

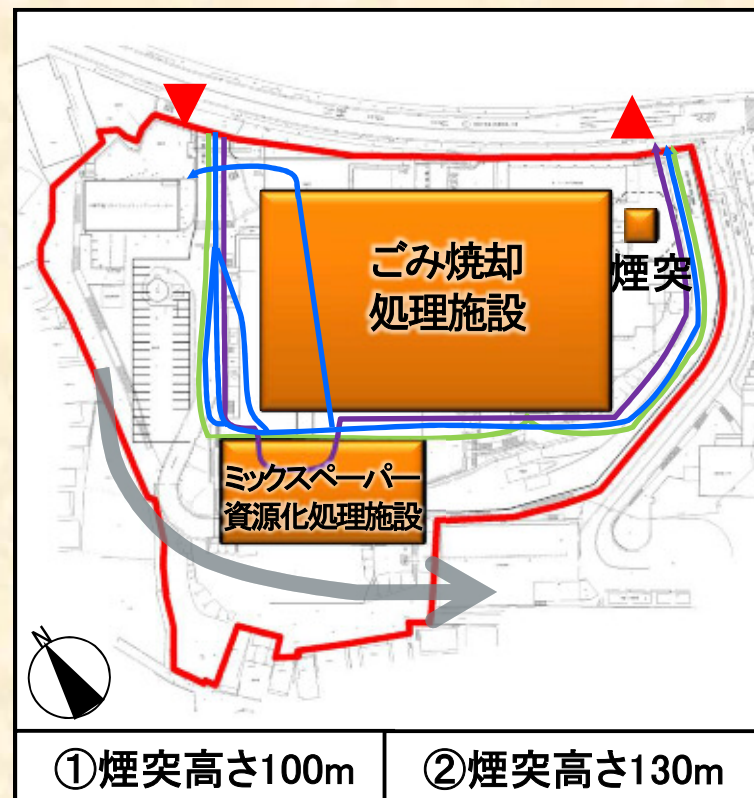
今後の手続

## 【複数案について】

### A 案



### B 案



凡 例

- ごみ収集車両ルート
- ミックスペーパー収集車両ルート
- 灰運搬車両ルート

ごみ処理施設  
の整備方針

これまでの  
経緯

全体  
スケジュール

配慮計画書  
の内容

検討経過

事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

環境影響評価  
審議会

地域住民と  
行政による  
検討協議会

総合的な比較、検討



ごみ処理施設  
の整備方針

これまでの  
経緯

全体  
スケジュール

配慮計画書  
の内容

検討経過

事業計画

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

## 複数案の絞込み

	A案	B案
施設配置	<p><b>総合評価：○</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境への変化が小さい</li> <li>環境配慮及び利便性に優れている</li> </ul>	<p><b>総合評価：△</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A案に比べ環境への変化が大きい</li> <li>利便性はやや劣る</li> </ul>
煙突高さ	100m案	130m案
	<p><b>総合評価：○</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気への負荷は十分に小さい</li> <li>景観において優れている</li> <li>経済性にも配慮している</li> </ul>	<p><b>総合評価：△</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気への負荷は十分に小さい</li> <li>景観においてはやや劣る</li> </ul>

ごみ処理施設  
の整備方針

これまでの  
経緯

事業計画

施設の概要

立体利用  
について

環境配慮の  
考え方

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

# 橘処理センター整備事業について

## 3. 事業計画

ごみ処理施設の整備方針

これまでの経緯

事業計画

施設の概要

立体利用について

環境配慮の考え方

環境影響評価項目の選定

調査、予測及び評価手法

今後の手続

## 既存施設との比較

項目		計画施設	既存施設	
ごみ焼却 処理施設	処理能力	600 t /24時間	600 t /24時間	
	処理方式	ストーカ式	ストーカ式	
	余熱 利用 設備	施設内	発電、給湯	発電、給湯、 冷暖房
		川崎 市民プラザ	給湯(プール、風呂等) 冷暖房	給湯(プール、風呂等) 冷暖房
	発電効率	20%以上	6%	
	建物高さ	約35m	約30m	
	煙突高さ	100m	100m	
併設施設	種類	ミックスペーパー 資源化処理施設	粗大ごみ 処理施設	

ごみ処理施設の整備方針

これまでの経緯

事業計画

施設の概要

立体利用について

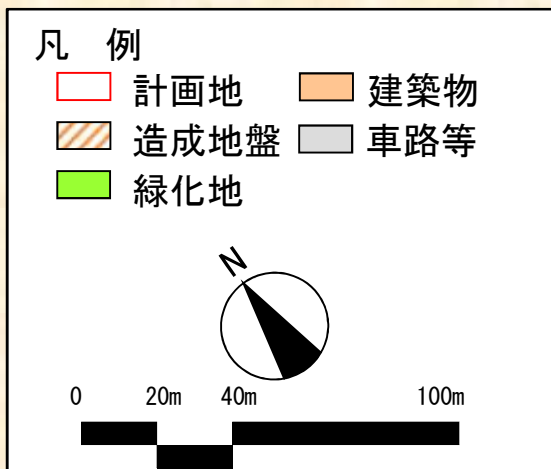
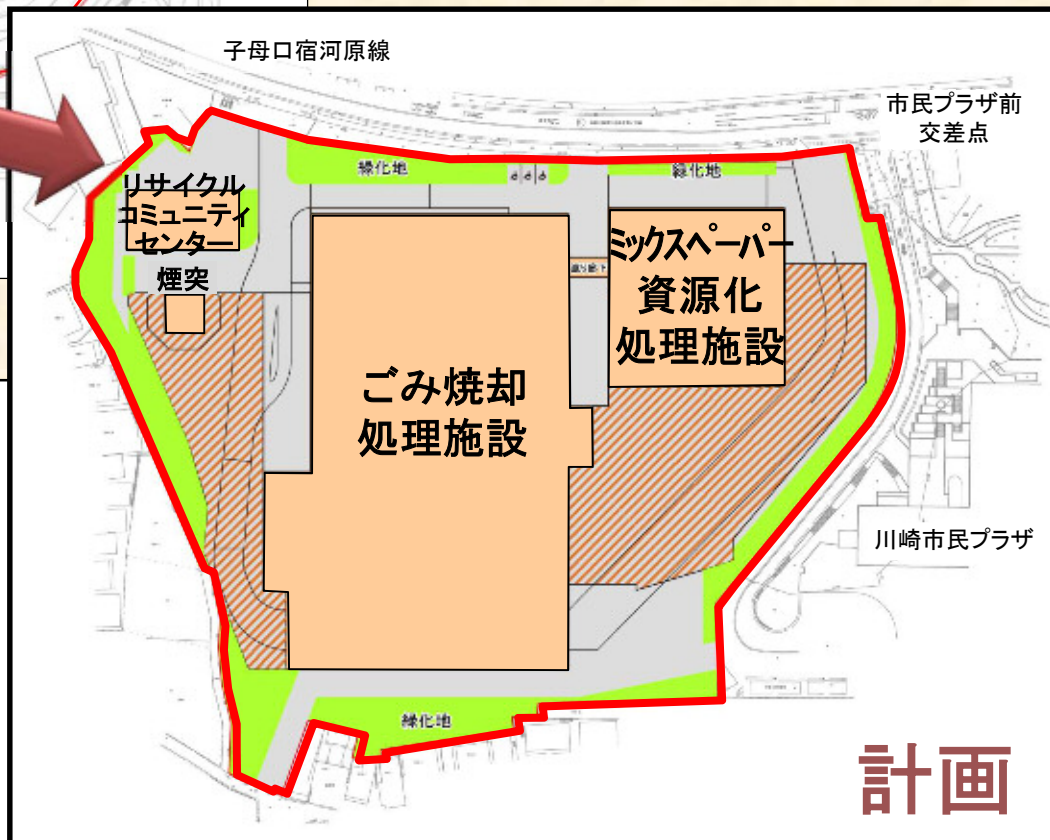
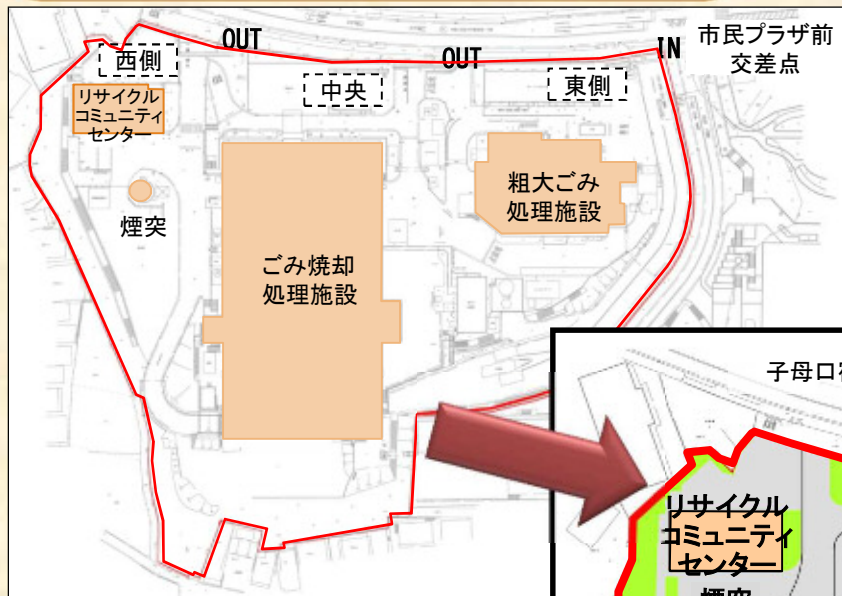
環境配慮の考え方

環境影響評価項目の選定

調査、予測及び評価手法

今後の手続

## 土地利用計画



計画



ごみ処理施設  
の整備方針これまでの  
経緯

事業計画

施設の概要

立体利用  
について環境配慮の  
考え方環境影響  
評価項目の  
選定調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

## 敷地の高低差を利用した造成地盤を設置

→敷地の立体利用により、川崎市民プラザとの連続した広域空間を確保

川崎市民プラザとの一体性

防災機能

処理センターの土地の立体的活用

安全性の向上

緑地の確保

## 大気汚染

関係法令・条例などの規制値より  
さらに**厳しい自主基準値**

主な項目	公害防止 自主基準値	(参考) 法規制値等
ばいじん	0.01g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> 以下	0.04g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> 以下
硫黄酸化物	10ppm以下	400ppm以下
窒素酸化物	30ppm以下	250ppm以下
塩化水素	10ppm以下	430ppm以下
ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> 以下	0.1ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> 以下

ごみ処理施設  
の整備方針

これまでの  
経緯

事業計画

施設の概要

立体利用  
について

環境配慮の  
考え方

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

ごみ処理施設  
の整備方針

これまでの  
経緯

事業計画

施設の概要

立体利用  
について

環境配慮の  
考え方

環境影響  
評価項目の  
選定

調査、予測  
及び評価手法

今後の手続

## 水質

プラント系排水は排水処理を行い施設内  
で再利用する。

## 騒音、振動

法や条例の規制値を遵守。  
住宅地が隣接するため、十分に配慮する。

## 悪臭

法や条例の規制値を遵守。  
臭気の漏洩を防ぐため、処理設備や作業  
は建屋内とする。